

## 主の前に静まるシリーズ

### 「③沈黙を楽しむ」

ヤコブ 3:3-6

2018.8.26 HKJCF

1

#### ヤコブ 3:3-6

3:3 馬を御するために、くつわをその口にかけて、馬のからだ全体を引き回すことができます。

3:4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。

3:5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があるような大きい森を燃やします。

3:6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。

2

#### 概観

情報が目まぐるしく飛び交い、リズムの速い現代社会で、発言する前に言葉の影響力と沈黙の効果を考えたい。

#### アウトライン

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. 制御と誘導 | V3-V4 |
| 2. 舌の両面性 | V5-V6 |
| 3. 沈黙の効果 | 適用    |

3

#### 1. 制御と誘導 V3-V4

1) 教師という立場: 発言の影響力(V1); リーダーの口の自制力(V2) (詩篇 39:1)。目標: 人間性の成熟、霊性と品性の成長。

2) 馬の制御: 全体の制御;  
χαλιναγωγέω (*chalinagógeó*); くつわ= 発言を控える。

3) 船の誘導: 方向性の誘導;  
μετάγω (*metagó*); かじ= 舵取りの自覚を持つ。

4) 禁欲主義ではない: キリスト者の節制と自制⇒御心のままに生きる時。

4

#### 2. 舌の両面性 V5-V6

1) 小さな器官: 舌の破壊力= 森を燃やす。へつらいと傲慢(詩篇 12:1-4); 信頼を無くさせる二心⇒配慮のため、真実に近い話し方。

2) 舌は火: 炎のように揺らめき、音を立て、燃やして破壊する(詩篇 120:1-4; 箴言 16:27)。体→人生の車輪→ゲヘナ= 不義の再生産、沈黙→言葉→沈黙のサイクルを作る。

3) 矛盾に気づくこと: 讚美⇄のろい(ヤコブ 3:8-10); 罪の実態に気づき、主に向かうこと。

5

#### 3. 適用: 沈黙の効果

1) 言葉の役割の再確認: 感情やアイデアの伝達、人格の交わり、コミュニティーの構築、神の栄光の証などに注力する。

2) 心の棚卸⇒賢い聴き手、話し手へ: 御心を伝える(コロサイ 4:6)←神の御心、相手の心を聴ける←聴いてもらった体験←心の内面を話す←神様や人を信頼する。

6